

令和4年度 学校自己評価書 —保護者や地域の皆様へ—

小美玉市では、市内各幼稚園、小・中・義務教育学校で、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行っております。各学校がその結果を公表しておりますが、ここでは「保護者や地域の皆様へ」という部分のみをまとめてお示しします。

今後も、市民の皆様へ情報をお伝えしてまいりますので、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【竹原小学校】

学校経営の基本方針を「楽しく元気な学校づくり」とし、学校全体として「児童の自己肯定感を向上させよう」を組織目標とし取り組んできました。挨拶については、教師が範を示し、声に出して挨拶を交わすことを習慣付けてきました。また、元気な挨拶ができるように、月初めに代表委員や各学年の児童が正門前に立って挨拶運動を行ってきました。学級においては、小さなことも「認め ほめ とともに喜ぶ」ことで、絆づくりや居場所づくりを行い、自己肯定感を高めるようにしてきました。また、学校ボランティアなどでお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝える場を設けることで、感謝できる心の育成を図ってきました。次年度は、校外学習や運動会、レクリエーション、田植え・稲刈り、ふれあい集会（150周年記念集会）等の学校行事を通して、各集団の絆を深めていきます。また、保護者や地域の協力を得ながら、学校の教育活動を充実させ、児童一人一人の成長を促す活動に積極的に取り組んでいきます。

児童の学校生活アンケートでは、「学校に来ることが楽しい」と答える児童が約90%（11月）と、前回調査85%（7月）と比較して増加しています。また、「給食は好き嫌いなく食べている」については、できていると回答した児童が69%と他の項目に比べて低い傾向が見られました。これについては、コロナウイルス感染予防のための制限の多い学校生活の影響も考えられますが、個別対応が必要な場合もあり、ご家庭の協力も得ながら対応をしていきたいと考えています。今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

【羽鳥小学校】

本校では「よりよい教育活動を通して児童の主体性を育む（脱・やらされ感）」を目標に、教育活動に取り組んできました。一人一人の夢を育むために、「ドリームバード」（夢と3つの目標達成）計画を毎年実施しています。この取組の継続により、夢や目標に向かって努力していることが形となって見えるようになったため、自己有用感を感じている児童が増えています。それが知・徳・体の伸張を促す原動力に繋がっていくと考えます。また今年度も感染症対応にも努め、児童が安心して学校生活を送れるようにしてきました。学校評価アンケート「学校が楽しい」の項目で90%の支持を得たのも、これらの成果の表れだと考えます。

課題であった学力向上については、ICT機器を活用した授業改善に努めました。児童一人一人の学習意欲と学力の定着をさらに伸ばしていきたいと考えます。

保護者および地域の皆様、今年度も本校教育への全面的なご理解・ご協力をいただきありがとうございました。特に、「運動会」「持久走大会」「親子行事」においては、感染症対策への取組について十分にご協力を頂いたおかげで、児童も精一杯活動をすることができ、よい思い出となりました。その他にも各行事実施へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

次年度も、教職員一同羽鳥小学校の発展に力を尽くしていきたいと決意をしております。更なるご支援をよろしくお願いいたします。

【堅倉小学校】

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度より、小美玉市内全ての小・中・義務教育学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が導入されました。地域の人々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指し、様々な事業を実施して参りました。この地域を教育の場とした体験的な学びや地域社会、地域の人々との触れ合いにより、児童は地域の一員としての自覚の芽生え、体験を通じた学びの広がりや深まりなど、普段の学習では得られない貴重な経験をさせていただきました。

この取組を支援していただいた学校運営協議会委員様(地域のコミュニティに関わる方々)には、地域の教育力を生かし、地域の方々と学校をつなぐコーディネーターとしてご尽力いただきました。また、地域の様々な団体様

やPTA、育成会など多くの保護者の皆様にご協力いただきました。地域や保護者の皆様の温かなご支援は、児童にとって夢と希望を抱き自らの明日を切り拓く大きな力となりました。皆様方の多大なるご支援に、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

来年度においても、堅倉小学校が子ども達の健やかなる成長を実現する学び舎となるよう努力していく所存です。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

【納場小学校】

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、田植え、稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さを学ぶことができました。「納場っ子まつり」は3年ぶりに形式を変えて実施しました。児童にとっては充実した活動になりました。今年は餅米を作り収穫した餅米は少しずつ持ち帰り、各家庭で食べていただきました。また、餅米の一部は「おかき」に加工して美味しくいただきました。

登下校のボランティアの皆様には、年間を通し児童の安全な登下校のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで安全に登下校することができました。

「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。

本年度より学校運営協議会を発足しました。協議会を年間4回実施し、熱心な話し合いのもと、各部（学習支援部・環境推進部・地域連携部）で様々な活動を行っていただきました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

令和5年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見のもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。

【小川南小学校】

本校教育活動へのご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、保護者や地域の皆様には、ご心配やご迷惑をおかけしたことが多々ありました。しかし、保護者の皆様、地域の皆様には、いつも温かい励ましのお言葉をかけていただき、また、本校の教育活動に積極的にご協力いただいたこと職員一同感謝しております。

今年度は、「知る。考える。動く。」ことを大切にして教育活動を推進してまいりました。児童も「南っ子の新しい生活様式」をもとに感染予防対策をとりながら、学校行事や日々の授業で成長しております。

来年度は、今年度の成果と課題を踏まえつつ、教育活動を少しずつコロナ禍以前の状態に戻していこうと考えております。元の状態に近づいた教育活動を通して、児童が自ら考え行動できる力を育み、学力や体力の向上、豊かな心の育成に、教職員一丸となって取り組んでいく所存です。

小川南小・小川南中学区の保護者の皆様や地域の皆様と私ども職員が一つのチームとして、子供たちを育てていけるよう、さらなるご支援とお力添えをよろしくをお願いいたします。

なお、本校の教育活動や児童の様子、学校だよりについては、学校Webページを日々更新しております。多くの皆様にご覧いただければ幸いです。

【小川南中学校】

県内有数の広い敷地、設備を備えた、この素晴らしい環境の中で、保護者・地域・各分野の関係者の皆様にご協力をいただきながら、生徒たちは学習や学校行事、部活動に取り組んでおります。

本校の学校教育目標「これからの時代を切り拓くたくましい生徒の育成」を達成するために、今年度は「生徒が主役 任せる 支える 寄り添う」を組織目標として掲げ、「チーム南中」として全職員で取り組んでおります。

さらに「人権尊重の精神を教育の柱とし、一人一人のよさが発揮される学校」「学級・学年経営が充実し、生徒の居場所がある学校」「明るく元気なあいさつのある学校」「季節感、清潔感、潤いのある学校」等をより具体的な生徒の姿や学校環境として捉えております。

学校公開日や体育祭、あしのめ祭（文化祭）など、生徒たちの思いや願いを大切にして、生徒が真剣に学ぶ様子や主体的・創造的に活動する様子を直接ご覧いただける機会を計画しております。ご来校いただける場面においては、皆様の生の声をお聞かせいただけましたら幸いです。

本校の教育活動や生徒の様子や各種たよりについては、ホームページでも紹介・掲載しております。ぜひご覧いただき、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

【小川北義務教育学校】

本校の教育目標である『温かい心で人と関わり、未来を切り拓くたくましい児童生徒の育成』、そして、目標具現化のためのスローガン「凡事徹底」「何事も協力」の実現に向けては、児童生徒の頑張りや教職員の支援により、大変充実した取組ができました。感染症対策の徹底を図りながら、児童生徒はさまざまな体験をし、心身共に大きく成長しました。特に、部活動や各種行事を経験して得られた充実感、達成感、及び反省点は、必ずや次への意欲につながるものと確信しています。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援のおかげもあり、いろいろな場面で児童生徒の善行が見られ、お褒めの言葉をいただくことも増えていきます。一方、少数ながら児童生徒間のトラブルや問題行動もあります。これについては、全職員で共通理解するとともに指導に努めています。また、信頼される教師を目指し、全職員でコンプライアンス研修を実施し、不祥事の未然防止に努めてまいります。

学力・体力の向上に向けては、全職員で研修を進め、「学び合い」のよさを生かした授業改善とGIGAスクール構想を踏まえた授業の工夫を進めてまいりました。また、「特別の教科・道徳」の授業改善についても継続して取り組んでいるところであります。児童生徒は、体育の授業や毎日の部活動にも一生懸命取り組んでおり、体力を着実に向上させています。コロナ禍の影響もあり、児童生徒の体力低下が危惧される昨今ですが、県内でも比較的高いレベルを維持できています。また、課題であった家庭学習についても学習時間・内容共に高まってきていることが児童生徒の実態調査や学力診断のためのテスト結果、全国学力学習状況調査から分かります。

今後も『温かい人間関係』を本校のキーワードとして、学習や部活動、児童生徒会活動や学校行事等それぞれに主体的に取り組む、常に上のレベルを目指す児童生徒集団、学び合う教職員集団になるよう努めてまいります。

児童生徒の心身の健全な育成には、保護者の皆様、地域の方々を始め多くの皆様のご支援、ご協力が欠かせません。本校ではさらに開かれた学校を目指し、授業公開や行事等に工夫改善を加え、「地域とともにある学校」となるよう、学校だよりや学校ホームページ等を活用し、適切な情報発信に努めます。保護者や地域の皆様には、その豊富な教育力を学校の教育活動の充実に向け、ご協力いただければありがたく存じます。

最後に、本校は、コミュニティ・スクールとして、小川北学区コミュニティとの連携を図り、今後も一層「地域とともにある学校」の実現を目指し、努力してまいります。ご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

【美野里中学校】

令和4年度は、「よりよい人間関係を築くことができる自立した学習者を育む」ことを目標に、新型コロナウイルス感染症拡大の不安を抱えながらも、「学びを止めない、美野里中の伝統をつなぐ」を合い言葉に、学年行事・学校行事等を生徒主体で実現してきました。1つ1つの行事を通して、生徒同士の絆の深まりと自主的・自立的な気持ちの高まりを見ることができました。

今年度は、1年生国語や3年生数学の授業に少人数担当教諭を配置しティームティーチングを実施して、生徒一人一人への丁寧な学習支援を行ってきました。また、新型コロナウイルス感染症関係で登校できない生徒に対してのオンライン授業など、学びの機会の保証に努めてまいりました。

授業では、ICTの効果的な活用や学習形態を工夫しながら学び合う活動を取り入れ、積極的な意見交流を通して互いを認め合いながら学習することができておりました。今後も全ての生徒が毎時間の授業に意欲的に取り組める学習づくりを推進するとともに、ご家庭と連携しながら家庭学習の内容充実と習慣化を目指していきます。今後も、ご支援、ご協力をよろしく願います。

【玉里学園義務教育学校】

玉里学園義務教育学校として令和3年の4月に開校し、2年になります。昨年度に引き続き、3つの小学校と1つの中学校、4つの学校の伝統と生活文化を融合させ、よりよい学校づくりに努めているところです。

本年度は、感染症対応も少しずつ緩和の方向に向かい、昨年度に比べて来校していただく機会も増やしてきました。また、宿泊を伴う行事や遠足、スポーツフェスティバルや緋秋祭など、制限こそありましたが実施することができました。子供たちの活躍する機会が増えてきたことはとても嬉しく思います。これも保護者や地域の方々の御理解、御協力のおかげです。感染症対応の中においても、開校2年目の学校運営をすることができました。

現在は変革の時期であり、特にICTを活用したよりよい学校運営のあり方を模索しているところです。学習面におきましても、オンライン授業やオンライン学習など、インターネットを活用した内容が増えていきます。インターネット機器を有効に活用することが、これからの時代に必要とされるからです。保護者の皆様には、一人一台端末の活用について今後も御理解と御協力を頂きたいと思っております。

最後になりますが、家庭や地域とともにある学校づくりを目指していきますので、是非今まで以上に本校に関心をもって、建設的なご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【元気っ子幼稚園】

元気っ子幼稚園は、令和5年度第15回の卒園をもって、閉園されます。令和6年度には、新しく小川地区と玉里地区統合の幼稚園が開園される予定にあります。本園の教育目標「幼児の発達にふさわしい環境を構成し、豊かな情操を養うとともに、自立の態度を培い、心身の調和のとれた幼児を育成する。」の実現に向けて進めて参りました。また、その具現化のための経営方針として、五つの柱（課題と教育課程・学びの連続性・指導計画の改善・生活習慣の確立・環境の維持）を立てて相互関連を持たせながら実現しております。これまでに多くの卒園生を送り出してきましたが、少子化の波にのまれ昨今は開園当初のころの園児数の1/3程度にまで減少しております。少人数ではありますが、今も変わらない元気いっぱいの幼児達が生活を送っております。今後も保護者・地域の皆様のお声を大切にしながら、地域の幼稚園として皆様のご期待に添えるよう、職員一同更に努力して参りますので変わらぬご声援とご助力を賜りますようお願い申し上げます。

【よつば幼稚園】

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては本園の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

本園は今年度、年中児16名、年長児18名が在籍し、毎日元気に幼稚園生活を送っております。コロナ禍の中で、どのような形でなら園行事等が開催できるかを職員間で話し合い、保護者参加の行事等は学年別や参加時間の分散などをしながら実施してきました。

また、子ども達の学びは遊びを中心とした保育活動から『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を踏まえた保育の展開を行っています。小学校へのスムーズな就学に向け、小学校との交流も同校舎内という利点を生かし、竹原小と実施することができました。今後も幼小連携を密にしていきたいと考えています。

幼稚園教育の特色を生かし一人でも多くのお子様をお預かりできるよう、行政共々工夫改善をしながら努力したいと考えております。

今後も、保護者の皆様や地域の皆様からいただいた意見を大切にしながら、皆様のご期待に添えるよう、職員一同、努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

【玉里幼稚園】

日頃より、保護者や地域の皆様には、本園教育活動にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。さて本園では、教育目標「集団生活の中で、“学び・笑顔・元気いっぱい”自己発揮できる幼児の育成」の実現に向けて、教育活動を推進しております。現在は、年長児13名、年中児14名、年少児20名が在籍し、毎日元気に幼稚園生活を楽しんでおります。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域や他団体との交流活動を制限せざるを得ない状況でしたが、運動会や生活発表会、夕涼み会、未就園児交流会などの園独自の行事を予定どおり開催することができました。

学校評価においては、保護者の皆様から概ね高評価をいただいております。本園では、日々の園生活の中で、一人一人の発達段階や個性、課題等を把握し、援助・指導に努めております。今後も園児や保護者の皆様との信頼関係を築きながら、園児に寄り添った教育ができるよう努力してまいります。どうぞ、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。